

令和5年度 自己評価

保育プロセスの質 リフレクションシート

保育教諭 22 名・看護師 1 名 合計 23 名に実施

☆基本コンセプトの視点からの日常の実践を自己評価する

1～25 項目までを読んで、当てはまる数字に○をつける。

1…十分に実践している 2…実践している 3…考えているが実践していない 4…全く考えたことがなかった

No.	項目内容	1	2	3	4
1	保育者は、抱っこや手をつなぐなど適切な身体的触れ合いを通して、あたたかな雰囲気醸し出している。	12	11	0	0
2	保育者は、子どもの表情や身振りなど非言語的な表現を敏感に感じ取り、適切に対応している。	8	15	0	0
3	保育者は、自由な遊びの時間に子どもと個別的な深いかかわりをもっている。	6	17	0	0
4	保育者は、個やグループにかかわっているときでも全体の状況を把握するようにしている。	6	17	0	0
5	保育者は、ダイバーシティ（多様性）を常に意識し、子どものステレオタイプ（固定 的な考え方や態度）な行動や発言を冷静に受け止め、対応している。	2	19	1	0
6	保育者は、わらべうたや言葉遊び、なぞなぞ、しりとりなど言葉を豊かにする活動を取り入れている。	4	18	0	1
7	保育者は、順番待ちリストなど必要に基づき書いている姿を子どもに見せている。	0	16	6	1
8	保育者は、水を大切に使ったり、リサイクルに心がけたりするなど環境に配慮するモデルとなっている。	7	14	2	0
9	保育者は、クッキングのときに材料を計量したり、作物の大きさを比べたり、拾ってきたドングリを種類ごとに分類したりして、分類、対応、比較、測定など算数的 な活動に適切に関与している。	8	12	2	1
10	保育者は、遊びや生活の中で、いろいろな場面で「美しい形」や「パターン」にふれる機会をつくっている。	0	17	6	0
11	車輪のある遊具で走り回ったり、身体を十分に動かして遊んだりする空間をつくっている。	11	12	0	0
12	保育者は、子どもと話をするとき「足場かけ」（次の段階に進む援助）や「オープンエンド」（答えが一つではない）を心がけている。	0	22	1	0
13	保育者は、子どもが描いた絵やつくったものについて、子どものコメントや表題 を書きとめ、作品に添付している。	7	12	3	0
14	保育者は、子どもがやりたいことを自分で準備したり自分のやり方で遊んだりすることを認め、オープンエンドになるように努めている。	2	19	2	0

無記名 1

無記名 1

15	保育者は、ごっこ遊びの中で、子どもの必要感に基づきながら、お店の看板やメニュー、プライスカードなどを子どもと一緒につくっている。	6	10	5	1 無記名 1
16	保育者は、子どもの記録をもとに、指導計画を作成している。	9	9	4	1
17	保育者は、個人のペースに応じて次の活動に徐々に移行するような工夫をしている。	5	17	1	0
18	保育者は、個々の子どもの興味や関心に基づいたねがいや手立てを持っている。	1	20	1	1
19	保育者は、素材の変化や磁石の性質など、子どもの年齢にふさわしい科学的な概念に親しめるような環境を計画的に取り入れている。	1	10	10	1 無記名 1
20	保育者は、海外のお話を聞く機会を設けたり、文化の異なる訪問者を招待したりするなど、異なる文化を意識しながら保育に臨んでいる。	4	11	6	1 無記名 1
21	絵本コーナーには、自然、社会、人々の暮らしや仕事など多様な内容の絵本がきちんと整理されて置かれるとともに、敷物やクッションなどがあり、居心地のよい雰囲気を出している。	0	14	9	0
22	子どもが、音やリズムを楽しむことのできる楽器が自由に使えるようになっている。	0	7	14	2
23	ごっこ遊びのコーナーには、異なる人種や文化の人形や食べ物が置かれている。	3	14	5	1
24	子どもが何か書きたく（描きたく）なったときのために、紙と鉛筆などが準備されている場所がある。	3	17	2	1
25	保育者は、子どもが協同的な活動を楽しめるような空間や素材の準備に努めている。	1	19	2	1

☆基本コンセプトの視点から子どもの姿を振り返る。

達成感・安定感・必要感を感じている子どもの姿（エピソード）を挙げて、グループごとに討議。

別紙参照

☆園内研修の振り返り

リフレクションシートを使用した園内研修の感想を記載。

別紙参照

【利用文献】

保育プロセスの質 リフレクションシート

URL：[sheet_190826_forprint \(pref.shizuoka.jp\)](http://sheet_190826_forprint(pref.shizuoka.jp))

静岡大学教授：田宮 縁

静岡県教育委員会義務教育課幼児教育センター

